

令和5年度 第1回 赤佐小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 4月27日（木） 9時45分から11時45分まで
 - 2 開催場所 赤佐小学校 会議室
 - 3 出席委員 山内 正隆、内山真由美、湖東 秀隆、佐藤 敏己、大石 祥範、大城むつ子、文屋沙弥子、石牧 真志、内山真由美、竹内 清人、野末 智美、伊藤登紀子〈学校支援CD〉
 - 4 欠席委員 なし
 - 5 オブザーバー 小杉 幸次（中瀬協働センター）
 - 6 学 校 松本 孝久（校長）、工藤 幸徳（教頭）、袴田加奈子（主幹教諭）
徳田 衛（CS担当）鈴木 晴代（CSディレクター）
 - 7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
 - 8 傍聴者 なし
 - 9 協議事項
- (1) 議長の選出について
 - (2) 前回会議録、4年度協議会自己評価の確認
 - (3) 熟議内容
- ①赤佐小学校運営基本方針について
 - ②特色を生かした学校づくりに向けた取り組みについて
 - ③本校のいじめ防止基本方針について
 - ④夢育やらまいか事業に対する意見書について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 晴代
 - 11 会議記録

教頭から、委員総数11人の全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

議長の選出について意見を求めたところ、野末委員より立候補があり、全員意義なく承認をした

〈一時協議を中断し校内参観をして、子供たちの様子を確認した。〉

(2) 前回会議録、4年度協議会自己評価の確認

教頭より前回の会議録、評価の説明があった。

(3) 熟議内容

① 赤佐小学校運営基本方針について

議長の指示により、松本校長が、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明した。

また、「あかるいあいさつ かがやく笑顔の さくらっ子」を合い言葉に、「主体性＝自分らしさ」を出せるような子供を目指している趣旨の説明があった。

家庭、地域、学校が協働して子供を育てるシステム作りがコミュニティスクールであり、運営委員とコーディネーターが活動することで、地域・保護者・学校のつながりをさらに深めていきたい。コーディネーターが呼びかけた「さくらっこ応援団」では、1年の給食補助、

下校指導でとても助かった。

議長から委員に意見・質問を求めたが、特に意見はなく、学校運営方針や校内参観等について感じたことを、以下のように発言した。

- ・ 1ヶ月たたない中で集団で授業ができています。1年生は、できる範囲でやっている。なれた頃が大変だが、良い方向に行けば良い。協議会でさらに情報交換ができると良いし、次回は4ヶ月後になるので連携していきたい。(湖東委員)
- ・ 給食サポートに参加した。1年生は人数が多くて大変で特に牛乳パックを開くのが難しかった。6年生が来て、丁寧に教えてくれて、上級生の力は非常に大きいと感じた。1年生と上級生の密度の違いに驚いた。(大城委員)

以上のことについて、協議の結果、承認した。

② 特色を生かした学校づくりに向けた取り組みについて

P T A総会の参加者が多く、実家庭498のうち400名以上の参加があったと思われる。学校づくり、教育が変わって主体的・対話的な学習が重要視されるようになり、地域と学校とのつながりはより深くなっている。それぞれの立場での取組をお願いしたい。(松本校長)

☆取り組みについて

クラブ活動を13クラブ実施予定。

歴史文化(3)、体づくり(3)、体験(3)、ものづくり(3)、異文化(1)

今年度は地域、市より外部講師をお願いする。これからは、より地域の方とふれ合える機会を持ちたい。(野末CD)

俳句の会とのつながりを広げることができるだろう。(湖東・石牧委員)

年に何回かあるので、個人ではなくグループで取り組む方が良いのでは、今年度のクラブ活動以外で、学校で行いたいものを知らせてほしい。(野末CD)

以上のことについて、協議の結果、承認した。

③ 本校のいじめ防止基本方針について

教頭が、いじめ基本方針について説明する。

特に意見はなく、承認した。

④ 夢育やらまいか事業に対する意見書について

教頭が、夢育やらまいか事業に対する意見書の説明をする。

特に意見はなく、承認した。

《その他連絡事項等》

- ・ さくら連絡網の登録のお願い
- ・ 5/27運動会6/14参観会への参加
- ・ 次回運営協議会は9月5日(火)の予定(工藤教頭)
- ・ 共有することが大事であるが、守秘義務も考えること。(教育委員会堀田)
- ・ 支援の関係、協働センターは協力をする。(協働センター小杉)